

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○平成30(2018)年度 第1回「健笑庵のぎ」運営推進会議

対象事業者名 : (有) ケアサポートことぶき「健笑庵のぎ」
 サービス種類 : 地域密着通所介護事業所
 開催日 : 平成30年7月24日(火) 午後2時30分～午後4時
 開催場所 : 健笑庵のぎ 1階 談話室
 出席者 :

事業所	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
松江市職員	0名	包括支援センター	1名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. 通所事業について

1) 近況報告

①ご利用状況

◆登録者数(平成30年7月現在): 43名(うち男性5名、女性38名)

◆介護度別利用者数(平成30年7月現在)

総合事業通 所サービス	該当者	1名	地域密着型 通所介護事業	要介護1	22名
	要支援1	1名		要介護2	12名
	要支援2	4名		要介護3	1名
制度外(実費)利用者		0名		要介護4	2名
				要介護5	0名

◆各月利用人数

- 平成30年1月(302名) ○平成30年2月(302名)
 ○平成30年3月(333名) ○平成30年4月(321名)
 ○平成30年5月(357名) ○平成30年6月(366名)

②活動報告

◆誕生会(誕生日の地番近い利用日に実施)

◆レクリエーション(季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・絵馬づくり ・節分豆まき ・ひな祭り ・お花見外出 ・鯉のぼりゲーム
 ・母の日会 ・笹まきづくり ・七夕飾り ・スイカ割り

③日曜デイサービス(月1回)

- 平成30年1・2月 新年会行事(干支の置物作り・屋内ゲーム)
 ○平成30年3・4月 一畑薬師参拝 ○平成30年5・6月 夢みなとタワー散策
 ○平成30年7月 納涼会(お好み焼き作り・映画鑑賞等)

④社会参加活動(介護保険外活動)

- 平成30年2月 イチゴ狩り(3名) ○平成30年3月 イチゴ狩り(6名)
 ○平成30年4月 伯太チューリップ鑑賞(3名) ・玉造勾玉作り(3名)
 ○平成30年5月 広瀬藍染体験1班(3名)・2班(4名)
 ○平成30年6月 松江堀川めぐり1班(4名)・2班(4名)
 ○平成30年7月 八雲風穴・須佐神社参拝1班(4名)・2班(4名)

⑤その他活動

- ・防災訓練(毎月) ・野菜作り活動 ・調理活動 ・洗濯物たたみ

2) 相談および苦情受付の状況

①介護サービスについての相談

●現在利用している訪問介護サービスで事業所を変更したいがどうしたらよいのか。

(対応) 相談の内容を担当ケアマネに報告。後日家族も交え担当者会議を行い、話し合いを行う。

②当事業所の利用についての相談

- 若年認知症（70歳未満）で病識の無い方を受入れて欲しいが、どの様な形でサービス利用に繋げるとよいのか。

（対応）本人の意思を尊重した対応を検討する（デイサービスでの役割設定など）。その上で体験 利用を提案する。

- 認知症による徘徊や家族に対する暴言などがあり、また病院受診を受入れる事が出来ず、家族が苦慮しているケースについて。

（対応）まずは見学の機会を設けていただく。その後本人様の状況を確認しながら見学のレベルでのお誘いを行うことを提案する。

③その他（利用者、家族様から）の相談（適宜対応を行なっている）

- ご家族様より、自宅での転倒が増えているがどうしたらよいのか。
- ご家族様より、日常生活上において認知力の低下が著明となってきた。

④当事業所の対応についての苦情

- ご家族様より、ご利用者（義母）が「ある職員は私がデイサービスを利用している事をこの地域の親戚に話をしている。」と困った様子で訴えてきた。この事は個人情報を取り扱う責任において、守秘義務に反する行為ではないのか。再発防止策を検討してほしい。

（対応）当事者職員への事実確認を行ない、早急に緊急のスタッフ会議を開催。ご指摘の事実は確認できない。しかし、利用者の方の心身の状況やそれに対する対応について再度検討し、今後のコミュニケーションの方法等について確認を行う。後日、調査報告および再発防止の方法について家族様に説明を行い、同意を頂く。

3) 研修会および勉強会等

- ①職員会議 : 1回/月
- ②ケース検討会 : 1回/月
- ③社内研修会 : H30.6 応急手当講習会 講師；松江市南消防署員

4) その他

- ①中学校福祉体験学習受入：玉湯中学校 2名 [6月21日～22日]
- ②ボランティア受入の状況
 - ・お話し相手 : 1回/週
 - ・紙芝居 : 1回/2ヵ月

5) 質疑応答

Q. 防災訓練はどの様に行っているか。

A. 災害（地震・火事）を想定した上で非常口や避難経路の確認を行うことで、ご自宅での意識を高めるように行っている。

2. 意見交換

- ◎地域代表者：地域で暮らす高齢者の中には一人暮らしや介護認定を受けていない方など、生活上、心配な方もおられる。定期的に訪問をし出来る限り支援をしているが、なにか良い方法があれば良いが。
- ◎地域代表者：親が施設入所する際に罪悪感を抱いていたが、今は当時よりも施設が充実してきた。今後、より介護を受入れる社会になって欲しい。
- ◎利用者家族：母親が喜んでデイサービスを利用している事は身内として大変助かっている。寿命が長くなった事が老老介護を招いている。今は、家族に負担を掛けないように施設を利用する事が当たり前になっていく丁度転換期と思われる。自分達も介護が必要になったら進んで施設を利用したい。
- ◎利用者 : 週4回デイサービスを利用している。出掛けて話をしたり、栽培している野菜の成長を見たりするのが毎回楽しみ。だから、一人暮らしでも元気でいられる。
- ◎知見有識者：防災訓練については、災害発生場所や状況を変え避難にかかった時間を測っている。年1回には自治会を合同で行っている。
- ◎包括支援センター：利用者の皆さんが先生になって職員と一緒に畑を耕して野菜を作って、収穫して頂く事は凄くいい事。今までの経験を活かす事が生活に意欲を与える事に繋がる。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○